

令和3年6月4日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

～未来技術の社会実装と地域における新産業の集積を目指して～

東三河ドローン・リバー構想推進協議会 第3回総会を開催します

令和2年度の事業報告・決算、令和3年度の事業計画・予算の審議や、
「ドローン政策に関する国の動向」に関する講演などを行います。

東三河ドローン・リバー構想推進協議会では、未来技術の社会実装を通じた地方創生の深化を図り、ドローン・エアモビリティに関する新産業の集積をはじめとする地域経済の活性化及び地域課題の解決に向けた官民協働の取組みを進めています。

この度、令和2年度の事業報告・決算及び令和3年度の事業計画・予算等の審議を行うとともに、本協議会オブザーバーの皆様から国のドローン政策に関して講演いただく第3回総会を下記のとおり開催します。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、オンライン開催とします。

記

- 1 開催日時 令和3年6月7日（月） 午後1時から3時まで
- 2 開催方法 オンライン（Zoom）
- 3 内 容

- (1) 議 事
役員等の選任（案）について
令和2年度事業報告について
令和2年度決算の承認について
令和3年度事業計画（案）について
令和3年度予算（案）について
規約の一部改正について

- (2) 講 演 「ドローン政策に関する国の動向について」
第1部 有人地帯での目視外飛行（レベル4）実現のための制度について
講師 内閣官房 小型無人機等対策推進室 参事官 長崎 敏志 様
第2部 ドローンと空飛ぶクルマの産業創造に向けた取組
講師 経済産業省 次世代空モビリティ政策室 室長 川上 悟史 様



第2回総会の様子



※ 当日は豊川市防災センターにて取材をいただくことが可能です。また、オンライン（Zoom）で取材いただく場合は、ミーティング ID 等をお伝えしますので、お問合せください。

【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 企画政策課 瀬野・安藤
TEL:0533-89-2126 Eメール: kikaku@city.toyokawa.lg.jp

東三河ドローン・リバー構想推進協議会 第3回総会
開催内容のポイント

・ 協議会の主旨

「東三河ドローン・リバー構想推進協議会」は、豊川市・新城市の地元経済団体の要請を受け、ドローンを活用した地域経済の活性化・地域課題の解決を目的として官民協働で取組を進めるため、昨年の8月に設立、活動は2年目を迎える。

※官民での同様の組織は、県内では愛知県に続き2例目

・ 会員数

地元企業40社、地域外の企業18社が本会に入会いただいている。

・ 令和2年度事業報告、決算

令和2年度は、ドローン・エアモビリティを活用した地域社会の実現や新産業の集積に向けた取組を推進するための方針となる「東三河ドローン・リバー構想」の策定をはじめ、2回の総会、7回の実証実験、2品目のドローン関連製品の開発を行った。

・ 令和3年度事業計画、予算

令和3年度は、物流、作業省力化、災害対応の3分野の実証実験をさらに推進するとともに、人材育成のためのセミナーやプログラミング講座を新たに実施する予定。また、11月下旬に東京にて開催される国際ドローン展に本協議会で出展する。

・ 講演（予定時刻）

第1部では、「有人地帯での目視外飛行（レベル4）実現のための制度について」と題して、内閣官房小型無人機等対策推進室の長崎敏志参事官が、2022年度を目途にレベル4（有人地帯での目視外飛行）の実現を目指し、官民連携で技術開発や環境整備など様々な施策を講じている政府全体のドローン施策の動向について紹介する。

（14:10～14:30）

第2部では、「ドローンと空飛ぶクルマの産業創造に向けた取組」と題して、経済産業省次世代空モビリティ政策室川上悟史室長が、今後のドローン市場や国産ドローンの動向や、空の移動革命といわれる空飛ぶクルマの実現に向けた課題などについて解説する。

（14:30～14:50）